

議事録

日 時	令和 5 年 10 月 04 日 (水) 13:00~15:00	
場 所	河内長野市役所 8 階 会議室	
議 題	令和 5 年度 第 6 回 河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	9 名
	事務局 (河内長野市政策企画課)	3 名
	設計 JV (梓設計、現代ランドスケープ)	4 名
資料等	<p>【資料 1】 マスター工程表(案)</p> <p>【資料 2】 配置計画資料</p> <p>【資料 3】 駐輪場計画資料</p> <p>【資料 4】 舗装計画資料</p> <p>【資料 5】 植栽計画資料</p> <p>【資料 6】 平面計画資料</p> <p>【資料 7】 立面計画資料</p>	
議 事	<p>1. 開会</p> <p>2. 案件</p> <p>(1) マスター工程 (全体スケジュール) について確認。【資料 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/15 に予定していた第 6 回推進委員会は、委員の出席者が定足数に満たなかったため、日程を 10/4 に延期。 ・ 第 6 回推進委員会の日程延期により開催の間隔が短くなったため、10/20 に予定していた第 7 回推進委員会は中止とし、書面にて資料の確認を行う。 <p>(2) 配置計画の前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防球ネットの配置見直し ・ B ゾーン北側エントランスの形状修正 ・ 駐車場規格を W2500→2400 に見直し A ゾーン駐車台数：計 72→85 台 ・ 多目的広場の人工芝エリアの見直し ・ B ゾーン駐車台数：計 45→51 台 ・ バイク駐輪場の追加 <p>以下、推進委員会意見を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こども園との境界部分は公衆トイレとの関係性も含めてデザイン検討してほしい。擁壁は暗い色味として目立たないようにしたい。また公園側から室外機が見えないようにフェンスに植栽を這わせる等、景観に配慮した計画としてほしい。 ・ 駐車ますの幅は 2400mm でも問題なく駐車は可能か。 ・ 防球ネットの支柱の頭部は、高さを揃えない方が景観的に良いのではないか。檻のような印象にならないよう配慮してほしい。 ・ 園路の幅員を教えてください。 <p>(JV より回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車ますの幅の規格は最小 2300mm のため、十分な幅を確保できている。 	

- ・ 園路は幅員 3m とし、管理車両が入れる幅員で計画している。

(3) 駐輪場計画の前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 3】

- ・ 公園全体で駐輪場 58 台、バイク駐輪場 11 台を計画。(L)
 - ①A ゾーン北東側 駐輪場：25 台
 - ②A ゾーン南東側 バイク駐輪場：6 台
 - ③B ゾーン北西側 駐輪場：15 台
 - ④B ゾーン南西側 駐輪場：18 台、バイク駐輪場：5 台

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 現在南花台地域でバイク等の盗難が発生しているため、盗難防止対策を検討してほしい。バイク駐輪場も無料で運用する想定か。

(JV より回答)

- ・ バイク駐輪場の有料化するかどうかは市で検討中。駐車場のシステムと併せて盗難防止対策を継続検討する。

(4) 植栽計画の前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 4】

- ・ 公園外周部に常緑樹、園路に面して落葉種を植樹する計画とする。周辺住宅地への落ち葉の影響に配慮しつつ、季節ごとに木々の彩りを楽しめる植栽計画とする。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 大きな樹木や花が咲く樹種など、アイストップとなるような植栽を計画してほしい。
- ・ 植栽の粗密にメリハリをつけて配置を検討してほしい。

(JV より回答)

- ・ 3D モデルで見え方を検討しながら、引き続き検討を行う。

(5) 平面計画の前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 5】

- ・ 駐車側の廊下の外壁をカーテンウォールに変更。
- ・ ピロティのセキュリティをピッチ側：メッシュカーテン、駐車場側：スライド式メッシュフェンスに変更。
- ・ クラブハウスの南北側面に土圧を受けるための RC 躯体を計画 法規上の用途はなし

以下、推進委員会意見を記載

- ・ ピロティのスライド式メッシュフェンス、メッシュカーテンはいつ閉める想定か。
- ・ ピロティとピッチの境界部分は、段差での処理や、可動の境界柵等を設けることで、簡易的な設えで人の立ち入りを制限できないか。普段はメッシュカーテンを開け、ピロティを開放して運用できるようセキュリティ計画を検討してほしい。
- ・ クラブハウス側面の RC 躯体には室は計画しない想定か。

(JV より回答)

- ・ 駐車場側のメッシュフェンスは、なでしこリーグ試合時(年間 11 日程度)のセキ

セキュリティとして閉める。ピッチ側のメッシュカーテンは、ピロティとピッチの日常的なセキュリティとして、日中や夜間に閉める想定。継続して検討を行う。

- ・ 構造的に土圧受けるための躯体として計画するため、設備スペース以外の室は設けない計画とする。

(6) 立面計画の前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 6】

- ・ ピロティをセキュリティするメッシュの設えについて説明。
ピッチ側：メッシュカーテン：上下にレールを設置して開閉
駐車場側：スライド式メッシュフェンス：サッシ枠にメッシュを張り、サッシごとスライドできる計画。
- ・ メッシュカーテン、メッシュフェンスはともに金属製で、ボールが当たることを想定して十分な強度を確保する。
- ・ メッシュは、閉まった状態でも視認性を確保できる密度とし、かつ子どもの足掛かりとならないようなピッチの製品を採用する。
- ・ クラブハウス外壁の色彩検討について説明。ダークグリーン系、ブラック系、グレー系、ライトグレー系の 4 パターンで見え方を検討した結果、周辺施設との調和や植栽を強調する色味という観点から、ブラック系の方針に決定。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ メッシュフェンスの素材や質感は、建物のファサードとして意匠性に配慮して検討してほしい。また汚れにくい素材を選定すること。
- ・ メッシュの素材を教えてください。
- ・ メッシュフェンスが廊下のガラス前面にあると檻のような印象を受けるため、駐車場側もメッシュカーテンとできないか。また戸袋を設けて引き残しを収納してはどうか。
- ・ メッシュは、ワイヤーの径やピッチによって見え方の印象が変わるため、見え方を検討しながら製品を選定してほしい。
- ・ メッシュフェンスのサッシや上部レールは極力目立たないように細く計画し、軽い印象となるようにしたい。
- ・ メッシュフェンスは、子どもが手をかけて怪我をしないように安全性に配慮してほしい。

(JVより回答)

- ・ メッシュの素材は対候性に配慮しステンレス製を想定。ボールが当たっても問題ないように強度を確保した上で、透過性も両立させるような素材や密度感で検討中。
- ・ メッシュフェンスの素材は、遠景からだると透過性が高く見えるため檻のような印象にはならないと考える。またピッチ側のメッシュカーテンは、両端が会議室のガラス部分と取り合うため戸袋を計画することは難しい。開放時は中央の柱際にカーテンをまとめることで、景観的にすっきり見えるよう配慮する。
- ・ メッシュフェンスのサッシの位置はカーテンウォールの方立の位置と合わせて、極力目立たないように計画とする。
- ・ メッシュは、ワイヤーで怪我をしないような素材を選定する。また空き缶等の

ごみが挟まらないような密度とする。

(7) 舗装計画の前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 6】

- ・ 現地にて舗装のモックアップを作成。6 パターンの色調の透水性インターロッキングで見え方を比較した結果、濃いグレー系が最も照り返しが少なかったため濃いグレー系の色調に決定。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 濃いグレーのブロックとその他でコントラストが目立つため、薄いグレー系の色調とした方が景観になじむのではないか。
- ・ 現状ではブロックごとの濃淡の差が強すぎるので、コントラストに配慮した色調としてほしい。
- ・ インターロッキング舗装は滑り止め機能を持った製品としてほしい。

(JVより回答)

- ・ コントラストの差を小さくするため、白っぽい研磨のブロックの色味をより暗いグレーに変えて色調を調整中。
- ・ 雨に濡れた際も滑り抵抗値を確保できる計画とする。

(8) 屋上計画の前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 7】

- ・ パーゴラの形状を変更。南北一直線の通路状+中央部は大きい矩形状とする。
- ・ 屋上テラスの緑化の取り止め
- ・ 舗装は再生木デッキからスタンプコンクリートへ変更。柄パターンは石目調、木調等で検討

以下、推進委員会意見を記載

- ・ パーゴラ下部にベンチや縁台を設置するなど、日常時に滞留できるような設えとしてほしい。ビュースポットとしても使われると良い。
- ・ スタンプコンクリートのパターンについて、木目調はフェイク感が出るため避けたい。

(JVより回答)

- ・ ベンチ等の設えは使い方を含め継続検討を行う。パーゴラや庇の軒天の素材と合わせて、ベンチもおおさか河内材を使用する方針で検討を行う。
- ・ スタンプコンクリートのパターンについては引き続き検討を行う。

(9) 基本設計概算による変更項目を説明。変更点は以下の通り。

- ・ クラブハウス屋上テラスの舗装：上げ床+再生木デッキ→スタンプコンクリートに変更
- ・ クラブハウス屋上テラスの緑化を取り止め
- ・ ピロティのセキュリティ：管理用フェンス→メッシュカーテンに変更
- ・ A、Bゾーンの公衆トイレを木造化、規模縮小
 - ・ 屋根と壁の間に隙間のない形状に変更
 - ・ 壁面形状を曲線→直線に変更（屋根形状は曲線）
 - ・ 器具数を削減以下、推進委員会意見を記載

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 公衆トイレの壁面が直線になることで、当初の伸びやかな印象が失われて残念。曲面の壁面を構成できないか再度検討してほしい。

(10) 第2回南花台サロンの報告。内容は以下の通り。

- ・ 10/1にコノミヤ1階にて第二回南花台サロンを開催。参加者は高齢者を中心に30名程度で、6名ごとに分かれてグループワークを行った。公園でやりたいことについて多数のアイデアが挙げられたため、次回ワークショップまでに出たアイデアを系統ごとに振り分けて整理を行う。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 今後のワークショップに、より若い世代や子育て世代の参加を促進するために、ネットやSNSを利用するなど工夫して広報活動を行ってほしい。
- ・ ワークショップで住民から挙げた意見はどのように設計に反映する想定か。ワークショップの目的を教えてください。ワークショップで挙げた意見は可能な限り設計に反映してほしい。
- ・ 市民に向けて公園の計画をしっかりと説明し、知ってもらいたい。
- ・ 市民が自主的に公園づくりに参加できるような運営を検討してほしい。

(JVより回答)

- ・ ワークショップの目的は、設計段階から公園の使い方について住民と一緒に考えていくことのため、住民の意見による大きな設計変更は想定していないが、実施設計や現場の段階で、可能な範囲で設計に反映したい。
- ・ ワークショップや12月のイベントを通して、公園完成後も管理等に関わってもらえるような中心人物（パーククルー）を見つけることも目的としながら、広報や運営を行いたい。

3. 閉会

以上